熱海新聞　平成31年（2019年）1月15日

寄稿

ブルーノ・タウト没後80年

ドイツで記念展示会 <上>

旧日向別邸の姿上映

お茶の水女子大名誉教授　田中　辰明

熱海市春日町にある国の重要文化財「旧日向別邸」の地下室を設計したドイツ人建築家ブルーノ・タウト（1880～1938年）の没後80年に合わせ、母国では記念の展示会が開かれた。日本でのタウト研究の第一人者で、展示にも関わったお茶の水女子大名誉教授の田中辰明さん（東京都杉並区）が、昨年12月に会場を訪れた際のエピソードなどを寄せた。2回にわたり紹介する。

日本の文化を世界に紹介した建築家ブルーノ・タウトは1938年12月24日にイスタンブールで死去した。2018年は没後80年にあたり、これを記念してドイツでは展示会をはじめ、いろいろな行事が行われている。

タウトが来日するまで住んでいたタウト設計の旧宅はドイツのダーレビッツにある。このダーレビッツの隣町ブランケンフェルデで大規模な展示会が開かれた。筆者はこの展示会のお手伝いをした関係で招かれ、12月14日に訪問した。

オルトビン・バイアー市長らの歓迎を受けた。会場にはタウトが設計し、唯一日本に残る熱海の旧日向別邸が詳しく展示されていた。また高崎少林山だるま寺「洗心亭」での生活、洗心亭で描いた水彩画など多くの展示がなされていた。高崎での生活や熱海市の旧日向別邸の姿をまとめたビデオも上映され、来場者に感動を与えた。

会場にはタウトの孫のクリスチーネ・シリーさんも訪れていた。彼女はドイツの環境問題を政策としてきた「緑の党」を立ち上げ後にドイツ社会党（SPD）に移り社会党政権時代（1998～2005年）に内務大臣を務めたオットー・シリーさんと結婚したが事情により後に離婚している。

オットーさんとクリスチーネさんの間にはジェニーさんというドイツの有名な女優となった娘がおり、タウトのひ孫に当たる。1981年に「ドン・キホーテの子供たち」でデビュー、2010年には「犯罪地ーヒッチコックとベルニッケ」で主演女優を務めた。この女優さんも来場していた。

タウトの孫のクリスチーネ・シリーさん（右）と写真に納まる田中さん